市の木・もくせい

広報ふっさ

平成 29 年
11 月 1 日
No. 986

福生市 11 月のイベント

5 日(日)	第 7 回 5 市市長が語る地域自治体連携シンポジウム
18 日(土)	知的書評合戦！ビブリオバトル～福生秋の陣～
26 日(日)	親子でたのしむ落語

まちの写真ニュース

今年も「軽スポーツ＆とん汁会＋一日プレイパーク」を 11 月 19 日(日)に中央公園で開催します！　詳しくは 6 面をご覧ください。

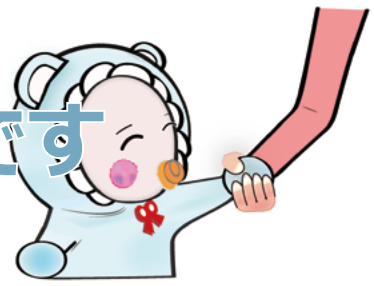
今号の主な記事

2面 平成28年度決算が認定されました　3面 広域連携サミットを開催　4面 くるみる　ふっさガイドツアー
5面 都営住宅入居者募集　6面 軽スポーツ＆とん汁会、一日プレイパークを同時開催　8面 第36回公民館のつどい

＼「あれ？」「まさか？」と感じたらまずは相談や通告を！／

11 月は児童虐待防止推進月間です

「いちはやく　知らせる勇気　つなぐ声」
（平成 29 年度「児童虐待防止推進月間」標語）



児童虐待の多くは「悪いことをしている」という認識がないまま起こっています。確証がなくても､「あれ？」「まさか？」と感じたらまずは相談や通告をお願いします。

▼「しつけ」のつもりが虐待になっていませんか？

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーなどを身につけるよう働きかけることです。子どもの発達や理解度に配慮しながら行っていくもので、暴力などで従わせるものではありません。保護者にとっては「しつけ」のつもりでも、子どもにとって有害ならば「虐待」になります。

▼地域の支え、見守りを

自分で助けを求めることができない子もいます。また、親も子育ての悩みや周囲からの孤立、経済的な問題などから虐待に至り、助けを求められずにいる場合があります。

虐待を防ぐには、家族、近隣など地域で支え、見守っていくことが必要です。

▼「虐待かも?」と思ったらすぐに通告を

法律でも児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は通告する義務があり、それが虐待でなかった場合でも責任は問われません。連絡は匿名でも可能です。通告者や連絡内容に関する秘密も守られます。

▼気付いてください「虐待のサイン」

〈子どもの様子〉
・不自然なあざや傷がある
・衣服や身体がいつも汚れている
・表情が乏しく笑顔が少ない
・おびえて家に帰りたがらないなど

〈親の様子〉
・地域の中で孤立している
・子どものけがや病気を医者に見せようとしない
・小さな子どもを置いたままで度々外出しているなど

▼子どもに関する相談窓口

①子ども家庭支援センター（福生市北田園 2 - 5 - 7 子ども応援館 1 階）
【時間・電話番号】月～土曜日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分・☎ 539・2555
②立川児童相談所（立川市曙町 3-10-19）
【時間・電話番号】月～金曜日午前 9 時～午後 5 時・☎ 523・1321

関連情報・催し

■養育家庭体験発表会を開催

親元で暮らすことのできない子どもを里親家庭に迎えて、養子縁組を目的とせずに育てていくことを「ほっとファミリー（養育家庭）」といいます。

体験発表会では、ほっとファミリーとして活躍されている里親さんの子育ての苦労話や喜びなどの実体験をお聞きします。また、今回は里子として養育家庭で育った経験を持つ方にもお越しいただき、貴重な経験談をお話ししていただきます。

【日時】11 月 18 日(土)午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
【場所】さくら会館 3 階ホール
【問合せ】立川児童相談所☎ 523・1321、子ども家庭支援センター☎ 539・2555
※託児希望の方は 11 月 10 日(金)までにご連絡ください。

■出張「子育てなんでも相談」開催

子ども家庭支援センターの職員が「ほっとひろば」へ出張し、子育てについての悩みやちょっとした疑問などの相談に応じます。

【日時】11 月 20 日(月)午前 10 時 30 分～正午
【場所】福祉センター
【対象】子育て中の親子やその家族、妊産婦など
【内容】子育てについての情報交換、悩み相談など
【問合せ】子ども家庭支援センター☎ 539・2555

■民生委員・児童委員は、地域の子どもを見守っています

民生委員は「児童委員」を兼ねており、その中でも子どもに関する支援活動を専門に行うのが「主任児童委員」です。

主任児童委員は、保育園、幼稚園など各種関係機関と連携をとり、地域の子どもを見守ります。また、子育て中の心配事や悩み事などの相談に応じて、各機関への連絡や支援を児童委員とともに行います。

お住まいの地区の担当児童委員をご紹介しますので、ご連絡ください。秘密は厳守します。

【問合せ】社会福祉課庶務・福祉計画担当☎ 551・1522

全力投球

福生市長　加藤育男

福生市 PR 動画「ブームとかじゃないまち」より

「ブームとかじゃない」魅力

7月1日号の「全力投球」でも少し触れましたが、市の若手職員有志がＰＲ動画「ブームとかじゃないまち」の制作を行いました。7月から企画・制作を始め、9月に完成し、公開したところです。

このＰＲ動画は、職場にある機材を使用したり、家庭にあるものを小道具として持ち寄ったり、若手職員たちがさまざまな工夫を凝らして「予算ゼロ」で制作しました。昨年度に公開したＰＲ動画「What's Up FUSSA」や「Tokyo SAKE Brewery」とはまったく違った手作り感が魅力の作品となっています。

今回のＰＲ動画をすでにご覧になった方はご存じかと思いますが、私も若手職員の熱に押され、ブームに乗って、今まで皆さんに見せたことがないような姿を披露することになってしまいました。マスコミに取り上げてもらったり、さまざまな方に話題にしていただいたりしたことは、恥ずかしいと思う反面、若手職員の持つフレッシュなパワーを皆さんにも感じてもらうことができた証拠だと、とても嬉しく思いました。

動画では、国道16号線沿いのシーンなどで、今ブームの「インスタ映え」するスポットをたくさん紹介していますので、ぜひ皆さんにも足を運んでいただきたいと思っています。

「インスタ映え」という言葉のブームが去っても、福生市の魅力が色あせることのないよう、今後も魅力発信に力を入れていきたいと考えています。若手職員が次は何をやって見せてくれるのか、私も期待しています。

【ＳＰコード】専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。【問合せ】秘書広報課広報広聴係☎ 551・1529